

平成26年度  
(第3四半期)

## 広貫堂グループ IR情報

### 株式会社 広貫堂

#### ○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

売上面では、前年同期比104.8%、計画比98.9%の実績でした。これは、売上構成金額の大きいCMO事業が前年同期比124.9%と好調な伸びによるものです。収益面では、経常利益は前年同期比1億9400万円の減少、計画比700万円の減少でした。これは、会計処理として、9月末にグループ会社の貸倒引当金を1億2800万円計上したことと、顆粒ライン稼働に向けた新規投資準備による販管費を9700万円計上したことによるものです。

(事業運営面)

CMO事業を除く本体売上部門に関しては、具体化した施策、戦術を実行して目標達成に向け推進しています。

#### ○ 課題への取組み

重点商品の一つとなっております、「透白美人」の新たな取り組みを継続するほか、ショップグループでは新店舗拡大に向け事業を推進しております。

また、第4四半期に東邦ホールディングス株式会社と株式会社広貫堂の共同出資の新会社「Kokando and Kyoso Mirai Asia Pte.Ltd.」の設立に向け、アジア地域での事業拡大に努めてまいります。

#### ○ トピックス、適時情報

1.東邦ホールディングス株式会社と株式会社広貫堂の共同出資の新会社

「Kokando and Kyoso Mirai Asia Pte.Ltd.」を設立調印式の実施

2. タイの日本人向け情報誌ArayZ(アレイズ)に、飯田社長インタビュー掲載

3. 富山中央軟式野球リーグ 広貫堂BCが準優勝

4. タイのバンコクに『Kokando Cafe』をオープン。健康相談も実施。

<https://www.facebook.com/kokandocafe?fref=ts>

5. チューリップTV「配置薬老舗アジアへ海外進出に活路あり！」にて広貫堂シンガポールが紹介されました。

6. 「女性活躍社会に適應せよ！」(BBT)において、広貫堂が紹介されました。

7. 山田特産加工組合との共同事業「健菜堂」のえごまが富山市内の学校給食に使われました。

#### ○ 業績の概況 (広貫堂・単体) (第3四半期、平成26年4月～12月)

(千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
売上高	8,205,828	8,679,992	8,596,369	9,007,734
経常利益	-210,310	25,345	31,738	-163,109

### 広貫堂グループ

#### ○ 連結経営成績に関する定性的情報

連結売上高は、前年同期比104.6%、4億9200万円の増加で推移しました。これはCMO事業の好調な伸びによるものと、シンガポール・マレーシアの海外事業の売上が新たに加わったことが挙げられます。

またグループ会社では、売上を牽引しております日本薬剤が冷夏の影響で前年同期比97.8%、配置薬部門の不振により、薬都広貫堂が前年同期比90.7%、広貫堂薬品販売が前年同期比87.5%という結果になりました。

経常利益は、前年同期比3億2700万円の減少となりました。この要因の一つとしては、広貫堂薬品販売の経常利益が5000万円、日本薬剤の経常利益が5000万円減少したことが挙げられます。また第2四半期に記載しました通り、返品調整引当金の戻し入れが前年同期比1億1100万円減少、薬都広貫堂の一般債権貸倒引当金の戻し入れが前年同期比7500万円減少しました。また第3四半期では、顆粒ライン稼働に向けた新規投資準備による販管費が計画通り計上されており、来年度本格稼働に向け第4四半期も販管費計上の計画が盛り込まれています。

#### ○ 業績の概況 (広貫堂グループ・連結) (第3四半期、平成26年4月～12月)

(千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
売上高	10,388,842	10,799,805	10,685,089	11,177,733
経常利益	-139,583	-151,612	178,082	-149,604

平成26年度  
(第3四半期)

## 広貫堂グループ IR情報

グループ各社

### 薬都広貫堂 株式会社

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

売上高は前年同期比90.7%、目標比88.6%、経常利益はマイナスとなりましたが、東京支店を閉鎖し、拠点を集約したこと、および自社製品の販売比率が上昇したことにより、赤字幅は縮小しました。

(事業運営面)

業務の効率化を図るため、拠点を富山本社に集約し今後も更なるサービス向上に努め、家庭配置薬の卸販売を通じ社会に貢献できる企業を目指します。また、製品とサービスを融合させた、新配置ビジネスモデルの構築に取り組みます。

○ トピックス、適時情報

1. 東京支店の閉鎖にともない、10月1日より、全社員が富山本社にて勤務しております。
2. 新発売製品(10月~12月)
  - ・ 健康補助食品：マイパートナー

○ 業績の概況 (第3四半期、平成26年4月~12月)

(千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
売上高	2,672,538	2,650,010	2,379,516	2,160,283
経常利益	46,623	6,078	93,809	-4,586

### 日本薬剤 株式会社

○ 事業の概況 (事業運営、業績等の概況)

(財務面)

天候不順などの影響によりドリンク剤の販売が振るわず、売上高は前年同期比97.8%となりました。経常利益は、一部営業経費計上の平準化を図ったため、上半期に一般販売管理費が増加し、前年同期比33.8%となりました。

(事業運営面)

ヘルスケア事業部および食品事業部では市場ニーズに応えた製品の開発を進めております。年間を通じて順次製品を上市しております。

○ トピックス、適時情報

新発売(4~12月)

医薬品 100mLドリンク 1アイテム、葛根湯内服液 1アイテム、胃腸薬 4アイテム、  
          プaster剤 1アイテム、ビタミンCチュアブル錠 1アイテム、下痢止め 1アイテム  
医薬部外品 100mLドリンク 1アイテム  
食品 ゼリーパウチ飲料 1アイテム、蒟蒻ゼリーパウチ飲料 3アイテム、化粧品 植物石鹸 1アイテム

○ 業績の概況 (第3四半期、平成26年4月~12月)

(千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
売上高	3,413,364	3,606,619	3,822,744	3,739,808
経常利益	136,725	95,106	77,791	26,261

平成26年度  
(第3四半期)

## 広貫堂グループ IR情報

グループ各社

### 広貫堂薬品販売 株式会社

#### ○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

売上面では、前年同期比87.6%となりました。利益面では前年同期△8100万円に対し△1億3500万円にて推移しました。売上面での減少の要因は、①通販事業の広貫堂への移管及び一宮営業所の閉鎖にて△6200万円、②消費税にて市場の冷え込みによる健康食品販売への影響が△5100万円、③人員減少等による減少が△7300万円となっております。また利益面については、売上低迷が大きく影響しておりますが、経費面では9月中間決算にて一部未払費用を計上しました。

(事業運営面)

下半期より、約16万件の顧客のすべてを店舗と見立てたマーケティング戦略をより強化し、リアルタイムで毎日の売上を本部から配信し長期的な売上の増強を図りました。新規取扱商品の販売と合わせて商材(Q10、紅参など)の勉強会をメーカー担当者を招いて定期的に行いました。薬剤師による登録販売者試験の解説を2月の試験合格を目的に定期的に行いました。

#### ○ トピックス、適時情報

新たに雑貨品を販売し売上の幅を広げました。  
例年年末に行っている福袋を、今後の売上につながる商材という新たなテーマの元販売しました。  
うつくし堂シリーズのトライアルキットを販売し、美容に注力しました。

#### ○ 業績の概況 (第3四半期、平成26年4月～12月)

(千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
売上高	1,465,163	1,488,220	1,494,250	1,308,844
経常利益	-60,192	-154,592	-81,104	-134,981

### トキワ広貫堂 株式会社

#### ○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

売上面においては、予算比95.5%前年同期比101%となりました。販売費及び一般管理費は、予算比110%前年同期比103%となりました。その主たる要因は、未払い費用のコスト計上及び貸倒引当金の基準変更によるもの及び特売費及び交換薬損失が計画比より増えております。又経常利益は、前年同期△1860万に対して△1840万となりました。

(事業運営面)

平成26年10月よりメタボリーフを取扱い生活習慣病に興味のあるお客様に対して情報提供を行う一方、フォロー活動も行っております。

#### ○ トピックス、適時情報

- 平成26年10月より風邪対策商品として「シーセレクト」の販売キャンペーンを行いました。
- 平成26年11月より「メタボリーフ」をリリースし生活習慣病の改善活動を行いました。

#### ○ 業績の概況 (第3四半期、平成26年4月～12月)

(千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
売上高	207,749	173,062	164,628	166,305
経常利益	-41,548	-20,875	-18,593	-18,375